

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：障がい者総合サポートセンター

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第6回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和4年5月18日(水) 13:30 ~ 15:20				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委員 (部会長：志村 陽子) <敬称略>				
	福田 美和	一色 ふみ子	山内 京子	蛭子 明子	栗田 修平
	北畠 拓也				
	事務局：森合 美穂、秋山 仁志、大本 哲也、江川 奈保美、堀内 蘭				

1 連絡・確認事項

(1) 司会・書記の確認 (司会：志村部会長、書記：事務局)

委員の都合により、6月と7月の司会を変更する。

(2) 参加者・配布資料の確認

令和4年度新規委員と参加者の自己紹介。

(3) 大田区自立支援協議会について

(ア) 令和4年度第1回大田区自立支援協議会報告

- ・3月に行う予定だった本会を、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により5月13日(金)に変更し開催した。
- ・令和3年度末に、中間報告書を作成。各専門部会から、令和3年度の専門部会活動について報告した。
- ・大田区自立支援協議会から区の主催する会議へ参加の依頼がきている。そのため、区の職員が説明に参加した。
防災・あんしん部会としては、以前から区の依頼で「大田区防災会議」へ参加している。それに加えて、今年度から「避難行動要支援者対策会議」に大田区自立支援協議会の代表として、参加する。

<本会参加委員から報告>

- ・年度初めに集まれる機会が出来て良かった。
- ・防災関係について、障がい者の視点からも進めていくが、これからも情報を得ながら自分の所属する会でも共有していきたい。

(イ) 運営会議の報告

- ・自立支援協議会の運営について考える会議。会長、副会長、各部会長が参加している。新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、オンライン会議も開催している。
- ・運営会議では、本会の合間で交流会や研修会の開催について検討している。第1回本会で提案したところ、たくさんの意見を本会委員からいただいた。意見を反映し、交流会を作り上げていきたい。
- ・次回の運営会議は7月頃の開催を予定している。

(ウ) 編集委員の選出

- ・各部会から1名選出する。大田区自立支援協議会から、『協議会だより』発行しており、編集委員を中心に作成している。今年度は交流会の内容を取り入れるため、交流会に参加できる方を選出する。

⇒防災・あんしん部会からは、北畠委員を選出。

2 議題

(1) 昨年度までの専門部会活動振り返り

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年度は3回開催と回数が制限された。

- ・第2回専門部会は、10月に開催した防災会議の内容を共有し、部会内で意見交換を実施した。オブザーバーとして防災危機管理課、福祉管理課から参加。集約した意見は、パブリックコメントとして提出した。
- ・第3回専門部会は、権利擁護をテーマに大田区障がい者差別解消支援地域協議会の内容を共有し意見交換をした。オブザーバーとして障害福祉課が参加。
- ・1月の第4回専門部会は、引き続き権利擁護をテーマに合理的配慮について行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催を中止した。代わりに、合理的配慮や令和4年度にやりたいことについて、専門部会委員を対象にアンケートを実施した。

(2) 今年度の専門部会の取り組みについて

今年度取り組みたい内容をテーマに、防災と権利擁護について意見交換を実施する。

(ア) 防災

- ・ヘルプカードの理解啓発、交流なども進めていきたい。
- ・個別支援計画について、他の地域のものであれば見てみたい。
- ・停電があったときに、手話でのやりとりができずコミュニケーションが取れないため、とても困った。スマホのライトなどでやりとりをしていた。メールを使用できたら良いが、スマホを持っていない方もいる。防災無線も聞こえないため、障がい者がわかるバンドを着けるなど自助の取り組みもしているが、それとは別に聴覚障がい者への配慮が必要だと思う。
- ・停電など、災害時に何が困るか、事例に基づいた困りごとを集約する。
- ・令和2年度に、専門部会委員と障がい者総合サポートセンターの周辺を歩いて、それぞれの障がい毎に困るポイントを確認した。専門部会の参加者のみでやっているのはもったいないと思ったので、新型コロナウイルスが収まったら、当事者と関わりのある人や自治体なども含めてやっていけたら良い。

(イ) 権利擁護

- ・白杖について知られていない現状がある。視覚障がいの方の電車事故も起きている。
- ・権利擁護、情報保障をテーマに「障がいについて配慮が必要な事」について外に発信していきたい。You Tubeなども選択肢か。各障がいによる困りごとをロールプレイなどで、まとめる方法がある。
- ・自分の障がいや困りごとについて共有できる交流会などがあればよい。
- ・カフェのようなものが出来ると良い。令和3年度に学んだことを4年度に発信していけたら良いと思う。現在、確保できている専門部会の日程でやるか、別日程かは検討だが、委員の皆様の負担にならないよう進めていきたい。
- ・社会福祉協議会の成年後見センターから話を伺うのはどうか。

3 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

毎回情報提供の時間を設けている。今後、自分の所属団体での活動やイベントなど周知したいことがあれば、この場を活用してほしい。

(2) ご意見カードの記入

いただいた意見は、次回以降の専門部会へ反映する。

※次回の日程【防災・あんしん部会】

日時：令和4年6月8日（水）13時30分～15時30分

場所：障がい者総合サポートセンター A棟5階多目的室